



鳥取県立鳥取盲学校

学校だより

第 6 号

校長 岸田 裕子
令和5年3月9日

普通科（学習の様子）

高等部普通科では、専門的な知識と技能を身に付けることを目的として特別非常勤講師による指導を実施しています。今年度の学習の様子を紹介します。作業学習で因州青谷こうぞ紙の歴史や手すき和紙の作り方について学び、各自がすいた和紙を使ってランプシェードの合同作品を作ったり、作業学習の取組に生かしたりしました。美術・生活単元学習の陶芸学習で材料の扱い方や道具の使い方を学び、機能性（使いやすさ）と美しさ（模様・色彩・形）を考えながら各自が工夫して食器や花瓶などを作りました。音楽で箏の演奏を教わり、「なごり雪」「荒城の月」と曲に応じた奏法に挑戦しました。弦に爪を当てる角度を調節して弾いたり、左手で弦を押さえる力を加減したりしながら、箏の音色を響かせました。

和紙



箏



陶芸



小中学部「陶芸作品展」

2月24日～3月3日の7日間、陶芸作品展を開催しました。小学部3年児童は、マグカップ、皿、マグネット、中学部3年生徒は卒業制作6点を出品しました。小学部3年児童は「大皿」の感想に「ちらし寿司を盛りつけ、家族で取り分けたいです」と書きました。中学部3年生徒は古墳時代の「踊る人々」のはにわをモチーフとして「踊る鳥盲」と名付けた、学校を見守るはにわと鉛筆立てを出品しました。この作品は学校に寄贈する予定です。作品展期間中、多くの児童生徒や教職員が来場して、中学部生徒は説明担当として、作品の説明を行い、来場者に手に取ってもらいながら、じっくり鑑賞してもらいました。大好評の作品展でした。今後は地域の方々にも見ていただけるような作品展ができればいいと思います。



遠藤祭

1月22日は本校の創設者である遠藤董先生の誕生日でもあり、命日でもある日です。今年は20日（金）に遠藤先生のご遺徳を偲びながら、遠藤祭を実施しました。式典では、校長先生から盲学校の成り立ちや遠藤先生の功績について聞いたあと、献花を行いました。それから、部活事始めでは、音楽部、茶道部、運動部が部科をこえて交流しました。放課後には、児童生徒の代表が遠藤先生の菩提寺である常忍寺を訪問しました。



給食週間

全国学校給食週間に合わせて、1月24日から30日の5日間、日替わりの企画を実施しました。鳥取盲学校恒例の【給食川柳】には全児童生徒11名と教職員56名が作品を応募し、投票により各賞が選ばれました。



【 給食川柳大賞 】

「ふるさとの ごえんつながる おひるどき」

【 職員賞 】

「星取県 スープの中にも 星きらり」

【 校長賞 】

「給食で みんなの心 ONE TEAM」

青雲寮（寄宿舎）の様子



今年度は9名の舎生が、将来を見据えて自立した生活を目指し、一人ひとりが自分に何が必要かを考えながら過ごしてきました。一つ屋根の下で仲間と暮らした日々は、良き思い出とともに「成長した自分」が存在するはずです。

生活の基盤が整うことは、卒業後の安定した生活につながります。一步一步、前進です！

【 令和4年度を振り返って 】

令和4年度もコロナ禍のなか、様々な活動を工夫しながら行ってきました。日々の学習をはじめ、全国フロアバレーボール大会・理解啓発動画・文化祭など、一人ひとりの児童生徒の輝く姿がたくさん見られました。保護者の皆様のご理解ご協力、ありがとうございます。今後さらに活動を広げ、児童生徒が活躍できるよう取り組んでいきたいと思ひます。



教頭 田中